

②インフレ、デフレ

お金や暮らしの知恵を学びましょう！

経済や金融に関する言葉の解説 第2回は、「インフレ/デフレ」です。

インフレーション (インフレ)

ものやサービスの値段が全体的に連続して上がり続ける現象のことです。経済成長(景気が良くなる)には、物価の上昇が伴うと考えられています。

しかし、インフレになると、お金の価値が目減りすることになります。

例えば、5年前には1パック200円で買えた卵が、2年前には250円、今では300円になるなど、ものやサービスが値上がりしていくとします。そうすると、貯めておいた200円では今はもう卵が買えなくなり、額面は変わりませんが、相対的にお金の価値が下がってしまったことになります。



デフレーション (デフレ)

反対に、ものやサービスの価格が全体的に連続して下がり続ける現象は「デフレーション(デフレ)」です。今より後で買う方が安くなりそうだと

と予想する人が多くなると、企業は価格を下げてても売れなくなるので経済は停滞し、やがて賃金が下がったり失業者が増えたりします。

お金の相対的な価値は上がりますが、お金を得ることが難しい状況になります。

最近、ずいぶん物価が上がっているけれど、あまり景気が良くなった感じはしない・・・



物価の上昇が賃金の上昇に反映されるまで時間がかかったり、賃金の伸びが追いつかなかったりする場合があります。

また、景気が良くなっていないのに、原材料の高騰の影響などで物価が上昇することがあります。これを「スタグフレーション」といいます。

スタグフレーションは物価が上がっても賃金上昇に繋がらないため、人々の生活を圧迫することにもなりかねません。